

——第 29 回村田学術振興財団研究助成——

助成対象 自然科学のうちエレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究

研究助成

- (1) 有意義な研究, 特に若手研究者で萌芽的な段階にある先駆的・独創的研究に関する研究者または研究グループ
- (2) 助成金額は, 総額 1 億 3 千万円とし 1 件当たり 100 万円～300 万円で総計 74 件程度

研究会 (学会を含む) 助成

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する研究会・学会
- (2) 助成金額は, 総額 1,400 万円とし 1 件当たり 30 万円～100 万円で総計 22 件程度

研究者の海外派遣援助

- (1) エレクトロニクスを中心とする研究分野に関する海外での研究活動, あるいは海外で開催される国際会議, シンポジウム等で研究発表する場合の海外派遣. 平成 25 年 6 月～平成 26 年 6 月の間に出発予定の方
- (2) 助成金額は, 総額 1,200 万円とし 1 件当たり 20 万円～50 万円程度で渡航費及び滞費の一部を援助

応募締切日 平成 25 年 4 月 12 日 (金) 必着

問合せ先 村田学術振興財団

TEL [075] 953-2580, FAX [075] 955-6526
zaidan@murata.co.jp
<http://www.murata.co.jp/zaidan/index.html>

——第 10 回 (平成 25 年度) 日本学術振興会賞——

対象分野 人文・社会科学及び自然科学にわたる全分野

対象者 国内外の学術誌等に公表された論文, 著書, その他の研究業績により学術上特に優れた成果を上げたと認められる者のうち, 平成 25 年 4 月 1 日現在以下の条件を満たす者.

1. 45 歳未満であること
2. 博士の学位を取得していること (博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む.)
3. 外国人の場合は推薦時点において我が国で 5 年以上研究者として大学等研究機関に所属しており, 今後も継続して我が国で研究活動を予定していること

授賞 授賞数は 25 件程度. 受賞者には, 副賞として研究奨励金 110 万円を贈呈.

受付期間 平成 25 年 4 月 15 日 (月)～17 日 (水) (必着)

問合せ先 日本学術振興会研究者養成課「日本学術振興会賞」担当

TEL [03] 3263-0912, FAX [03] 3222-1986
<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

——第 12 回ドコモ・モバイル・サイエンス賞——

趣 旨 情報化社会における情報通信・移動通信技術の発展とともに豊かで健全な社会を実現するためと若手研究者の育成を目的とするものです.

募集内容

- (1) 「先端技術部門」 広い意味での移動通信に関連した先端技術において, 優れた研究開発, 成果発表により, 移動通信分野の発展に貢献しつつあるもの, またはその成果が高く評価できるもの.
- (2) 「基礎科学部門」 広い意味での移動通信に関連した基礎科学において, 優れた研究開発, 成果発表により, 基礎科学の振興, 移動通信分野の発展に貢献しつつあるもの, またはその成果が高く評価できるもの.
- (3) 「社会科学部門」 広い意味での情報通信に関連するテーマについて, 独自の調査や経験的データを踏まえ, 明確な概念枠組みや理論的立場を明示して, 実証的に分析したもの, またはこれに関連して社会貢献に寄与するもの.

応募資格

- (1) 公的・私的研究機関 (大学等) において, 上記テーマに関する研究に従事する方
- (2) 満 50 歳未満の方 (1964 年以降の生れ)
- (3) 個人またはグループ. ただし, NTT 及び NTT グループ社員を除く.

推薦方法 国内の大学, 公的研究機関あるいは関係学会, 協会に所属されている方による推薦 (推薦にあたっては応募資格を満たしている研究者であれば, 複数名の推薦も可能)

応募締切 平成 25 年 5 月 31 日 (金) 必着

賞 金 各部門: 優秀賞 600 万円/件

問合せ先 ドコモ・モバイル・サイエンス賞運営事務局 (NTT-AT アイピーエス内) 担当 田中

TEL [0422] 70-6627, FAX [0422] 70-5222
info@ips.ntt-at.co.jp <http://www.mcfund.or.jp/>